

基礎情報

所在地

長崎県諫早市

全校生徒数

184名

地域の特徴

有喜地区は諫早市の中南部に位置し、橋湾沿いの港町である。保護者の中には卒業生も多く、「子どもは有喜の宝」という意識が行き渡り、子どもたちに関わる地域の活動が活発に行われている。

学校の特徴

明治5年開校し、創立150周年を迎えた。全年1学級の小規模校で、1小1中の学区であるため、学年を超えたつながりがあり、小中の関わりも多い。地域団体との連携・協力により、子どもを中心に学校・家庭・地域が理解し合い教育活動を行っている。

組織構成

- 本部役員（企画部会）
 - 会長1名、副会長4名（男2女2）
 - 監事（若干名）、顧問（若干名）
 - 事務局1名、PTAサポーター（若干名）
- 学級理事
 - 各学級2名
- 地区理事
 - 校区の9子ども会から各2名
- 専門部
 - 図書部 広報部 校外補導部 保体環競部 研究部（特設）
 - その他
 - 常任理事1名、理事1名

担当課：長崎県教育庁
生涯学習課

長崎県

諫早市立有喜小学校PTA

子ども主体のPTA行事を創る～Uki うき サンデープロジェクト～

キーワード 子ども実行委員 / 大人の支援 / 子育てネットワーク

取組概要

伝統行事を見直して、子どもに主体性をもたせた企画運営をし、PTAや地域が支援に徹することで、新しい形の活動にすることができた。地域の絆が強く、現役の保護者に加え、OBや卒業生も参加した。

取り組みの詳細

新しいUki うき サンデーへの道

- (1) 本部役員会
大人主体から子ども主体への転換という提案。
- (2) 子ども実行委員募集
前年度末に募集のチラシを配布し、8名が応募。今年度12名となり、活動を開始。
- (3) 実行委員会の話し合い
子どもたちとPTA役員有志による実行委員会の話し合い。子どもたちを中心に、4月より月2回ペースで進め、大人は見守りに徹した。
- (4) シミュレーション（9月～10月）
内容と準備物が把握できた段階で、開催会場での予行練習を順次行った。
- (5) 参加者募集
子ども実行委員会作成のチラシを配布。参加希望者は80人以上。
- (6) 本番（10/30）
「お化け屋敷×謎解き脱出ゲーム」「絵しりとり」「クラフトリミット」
大人は安全管理や時間配分などのアドバイスや、感染症対策、準備や当日の役割を担った。前日と当日、昨年実行委員をした現中学生が全員で応援に来てくれた。



主催：有喜小学校PTA
共催：有喜小学校
後援：有喜地区子ども会育成連合会、有喜地区青少年健全育成会

PTAの研究大会では、これらを寸劇にして分かりやすく発表した。

成果

- ・役員がサポートに徹したことで、実行委員のアイデアの創出や表現を促し、子どもの実行力や可能性を再発見することができた。
- ・PTAが主催、地域団体が後援とすることで連絡調整の負担が軽減した。「やりたい人が」「やれる分だけ」とし無理なく関わることができた。

課題や今後の取り組み

- ・従来、地域とのふれあいを目的とした行事であったものを、コロナ対策で方向転換を図ることとなった。従前の目的も達成するための企画・運営をどのようにするかが課題である。

その他の取り組み紹介

- 特色ある専門部の活動
 - ・数多く出勤する校外補導 ・父親の読み語り
- 子育てネットワーク
 - 【地域団体との連携による活動】
 - ・地域子ども教室 ・ボランティアスクール
 - ・通学合宿 ・海・体験講座 等
 - 【自治会・子ども会での活動】
 - ・町別懇談会 ・浮立 ・相撲 ・餅つき
 - ・球技大会 ・モグラ打ち 等

組織・運営の工夫

地域協働・連携

学びに関する活動

生活指導活動

その他